

高等学校 令和7年度（1 学年用）教科 芸術 科目 音楽Ⅰ

教 科： 芸術 科 目： 音楽Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1 組： 鳴島 ） （2 組： 鳴島 ） （3 組： 鳴島 ） （4 組： 鳴島 ） （5 組： 鳴島 ） （6 組：鳴島 ）

使用教科書：（ 高校生の音楽Ⅰ（教育芸術社） ）

教科 芸術 の目標：

- 【 知 識 及 び 技 能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	題材の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	●歌唱 （校歌、この道、合唱曲 他） 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解する。 【知識】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や歌詞との関わりや旋律の特徴から自己のイメージを深め、音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、近くしたことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 正しい発声を身に付け表現を創意工夫する歌唱の学習活動に主体的・協働的に取り組む	・指導事項 ○歌う時の姿勢、呼吸の仕方、声の響かせ方に注意して、音楽表現を工夫して歌唱する ○歌詞の内容を深く捉え、曲想との関わりを理解し、曲のもつ雰囲気や味わいを理解して歌唱する ○旋律の特徴や言葉の抑揚を理解して、イメージに合った表現を工夫する ○楽譜に書かれている記号や拍子を確認する ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。（一人1台端末の使用）	○				【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。【知識】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や歌詞との関わりや旋律の特徴から自己のイメージを深め、音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、近くしたことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している 【主体的に学習に取り組む態度】 正しい発声を身に付け表現を創意工夫する歌唱の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている	○	○	○	6
	●器楽 （ギターまたはキーボードのアンサンブル） 【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解する【知識】 ギターの場合はコード（G、D7、C他）、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解する【知識】 ギターの場合はコード（G、D7、C他）、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解し、演奏するために必要な奏法の技能を身に付ける【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのようにギターとキーボードのアンサンブルをするかについて創意工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 ギターとキーボードのアンサンブルに関心を持ち、主体的・協働的にギターとキーボードのアンサンブルの演奏の学習活動に取り組む	○五線譜やコードの読譜について理解し、奏法を学ぶ ○ギターとキーボードのお互いの楽器の音を聴き合いながら、ハーモニーを味わう ○個人の技能差があることを踏まえ、発展した内容（違う奏法や副旋律）を用意し、指導する ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。（一人1台端末の使用）		○			【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している【知識】 ギターの場合はコード（G、D7、C他）、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解している【知識】 ギターの場合はコード（G、D7、C他）、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解し、演奏するために必要な奏法の技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのようにギターとキーボードのアンサンブルをするかについて創意工夫している 【主体的に学習に取り組む態度】 ギターとキーボードのアンサンブルに関心を持ち、主体的・協働的にギターとキーボードのアンサンブルの演奏の学習活動に取り組もうとしている	○	○	○	6
	●ボディーパーカッション （Clapping Quartet No.1） 【知識及び技能】 拍子とリズムの関係を理解して、音色、音やリズムを連ねたり重ねたりしたときの響きについて表したいイメージと関わらせて理解を深める【知識】 創意工夫を生かした創作表現をするために、躍動的に演奏する技能を身に付ける【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 リズムやリズム同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって音色を豊かに生き生きとし演奏する器楽表現を創意工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 リズムパターンを即興で変化させて自己のイメージを演奏する学習活動や創作の学習活動に主体的・協働的に取り組む	○リズムパターンを躍動感をもって表現する ○反復、変化、対照などの手法を活用して、リズムパターンを即興で変化させて演奏させる ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。（一人1台端末の使用）		○	○		【知識及び技能】 拍子とリズムの関係を理解して、音色、音やリズムを連ねたり重ねたりしたときの響き、特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めている【知識】 創意工夫を生かした創作表現をするために、音楽を形づくっているリズムの要素を変化させ、躍動的に演奏する技能を身に付けている。【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 リズムやリズム同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって音色を豊かに生き生きとし演奏する器楽表現を創意工夫している 【主体的に学習に取り組む態度】 リズムパターンを即興で変化させて自己のイメージを演奏する学習活動や創作の学習活動に主体的・協働的に取り組んでいるか。	○	○	○	6

2 学 期	●歌唱 (イタリア歌曲、混声合唱曲 他) 【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する【知識】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体 の使い方などの技能を身に付ける【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 イタリア語による歌唱、曲の雰囲気を生かした表現と豊かに関わる歌唱表現の学習活動に主体的・協働的に取り組む	○イタリア語の発音の特徴を理解する ○イタリア語のアクセントやリズムや旋律との関わりを理解する ○歌詞の内容を理解し、表現を工夫する ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。(一人1台端末の使用)	○				【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している【知識】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体 の使い方などの技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している 【主体的に学習に取り組む態度】 イタリア語による歌唱、曲の雰囲気を生かした表現と豊かに関わる歌唱表現の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている	○	○	○	8
	●鑑賞 世界の諸民族の音楽 (ガムラン《ランチャラン マニャルセウ》の音楽の構造を理解し、ガムラン音楽とインドネシアの風上や気候との関わり 他) 【知識及び技能】 ガムラン音楽の循環的な構造を理解する【知識】 ガムラン音楽の文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深める【知識】 【思考力、判断力、表現力等】 ガムラン音楽首楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、ガムラン音楽の表現における共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさ、多様性を味わって聴く 【学びに向かう力、人間性等】 ガムラン音楽とインドネシアの文化、自然及び社会などとの関わりについて理解する鑑賞の学習活動に主体的・協働的に取り組む。	○ガムランの楽器の名称とそれぞれの役割を理解する ○楽器とリズムの組み合わせや、骨格旋律について理解する ○ジャワ島地域の自然と音楽の関わりについて考える ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。(一人1台端末の使用)				○	【知識及び技能】 ガムラン音楽の循環的な構造を理解している【知識】 ガムラン音楽の文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている【知識】 【思考力、判断力、表現力等】 ガムラン音楽首楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、ガムラン音楽の表現における共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさ、多様性を味わって聴いて 【主体的に学習に取り組む態度】 ガムラン音楽とインドネシアの文化、自然及び社会などとの関わりについて理解する鑑賞の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている	○	○	○	8
	●器楽 (ギターまたはキーボードのアンサンブル) 【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解する【知識】 ギターの場合はコード (G、D7、C 他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解する【知識】 ギターの場合はコード (G、D7、C 他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解し、演奏するために必要な奏法の技能を身に付ける【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのようにギターとキーボードのアンサンブルをするかについて創意工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 ギターとキーボードのアンサンブルに関心をもち、主体的・協働的にギターとキーボードのアンサンブルの演奏の学習活動に取り組む	○五線譜やコードの読譜について理解し、奏法を学ぶ ○ギターとキーボードのお互いの楽器の音を聴き合いながら、ハーモニーを味わう ○個人の技能差があることを踏まえ、発展した内容 (違う奏法や副旋律) を用意し、指導する ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。(一人1台端末の使用)					【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している【知識】 ギターの場合はコード (G、D7、C 他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解している【知識】 ギターの場合はコード (G、D7、C 他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解し、演奏するために必要な奏法の技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのようにギターとキーボードのアンサンブルをするかについて創意工夫している 【主体的に学習に取り組む態度】 ギターとキーボードのアンサンブルに関心をもち、主体的・協働的にギターとキーボードのアンサンブルの演奏の学習活動に取り組もうとしている	○	○	○	8
	●創作 (《きらきら星》の変奏や編曲 他) 【知識及び技能】 変奏や変奏曲、編曲について理解する【知識】 創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、変奏や編曲する技能を身に付ける【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって変奏や編曲を伴う創作表現を創意工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 旋律を変奏させ、アンサンブルを作る編曲などの創作表現の学習活動に主体的・協働的に取り組む	○イメージをもって《きらきら星》の旋律を変奏する ○つくった《きらきら星》の変奏曲を器楽アンサンブルに編曲する ○完成した作品をグループごとに発表する			○		【知識及び技能】 変奏や変奏曲、編曲について理解している【知識】 創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、変奏や編曲する技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって変奏や編曲を伴う創作表現を創意工夫している 【主体的に学習に取り組む態度】 旋律を変奏させ、アンサンブルを作る編曲などの創作表現の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている	○	○	○	6

高等学校 令和7年度(2学年用)教科

芸術

科目 音楽Ⅱ

教科： 芸術

科目： 音楽Ⅱ

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1 組：鳴島 ） （2 組：鳴島 ） （3 組：鳴島 ） （4 組：鳴島 ） （5 組：鳴島 ） （6 組：鳴島 ）

使用教科書：（ 高校生の音楽 2 ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	題材の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	●歌唱 （早春賦、Nel cor piu non mi sento、合唱曲 他） 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解する。 【知識】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に付ける。【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や歌詞との関わりや旋律の特徴から自己のイメージを深め、音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、近くしたことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 正しい発声を身に付け表現を創意工夫する歌唱の学習活動に主体的・協働的に取り組む	・指導事項 ○歌う時の姿勢、呼吸の仕方、声の響かせ方に注意して、音楽表現を工夫して歌唱する ○歌詞の内容を深く捉え、曲想との関わりを理解し、曲のもつ雰囲気や味わいを理解して歌唱する ○旋律の特徴や言葉の抑揚を理解して、イメージに合った表現を工夫する ○楽譜に書かれている記号や拍子を確認する ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。（一人1台端末の使用）	○				【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。【知識】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や歌詞との関わりや旋律の特徴から自己のイメージを深め、音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、近くしたことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している 【学びに向かう力、人間性等】 正しい発声を身に付け表現を創意工夫する歌唱の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている	○	○	○	6
	●器楽 （ギターまたはキーボードのアンサンブル） 【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解する【知識】 ギターの場合はコード（G、D7、C他）、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解する【知識】 ギターの場合はコード（G、D7、C他）、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解し、演奏するために必要な奏法の技能を身に付ける【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのようにギターとキーボードのアンサンブルをするかについて創意工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 ギターとキーボードのアンサンブルに関心を持ち、主体的・協働的にギターとキーボードのアンサンブルの演奏の学習活動に取り組む	○五線譜やコードの読譜について理解し、奏法を学ぶ ○ギターとキーボードのお互いの楽器の音を聴き合いながら、ハーモニーを味わう ○個人の技能差があることを踏まえ、発展した内容（違う奏法や副旋律）を用意し、指導する ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。（一人1台端末の使用）		○			【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している【知識】 ギターの場合はコード（G、D7、C他）、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解している【知識】 ギターの場合はコード（G、D7、C他）、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解し、演奏するために必要な奏法の技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのようにギターとキーボードのアンサンブルをするかについて創意工夫している 【学びに向かう力、人間性等】 ギターとキーボードのアンサンブルに関心を持ち、主体的・協働的にギターとキーボードのアンサンブルの演奏の学習活動に取り組もうとしている	○	○	○	6

2 学 期	●歌唱 （ドイツ歌曲、混声合唱曲 他） 【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する【知識】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体 の使い方などの技能を身に付ける【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 イタリア語による歌唱、曲の雰囲気を生かした表現と豊かに関わる歌唱表現の学習活動に主体的・協働的に取り組む	○ドイツ語の発音の特徴を理解する ○ドイツ語のアクセントやリズムや旋律との関わりを理解する ○歌詞の内容を理解し、表現を工夫する ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。（一人1台端末の使用）	○					【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している【知識】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体 の使い方などの技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している 【学びに向かう力、人間性等】 ドイツ語による歌唱、曲の雰囲気を生かした表現と豊かに関わる歌唱表現の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている	○	○	○	8
	●鑑賞 近現代音楽史 【知識及び技能】 近現代音楽の特徴を理解する【知識】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽の表現における共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさ、多様性を味わって聴く 【学びに向かう力、人間性等】 音楽と文化、社会などとの関わりについて理解する鑑賞の学習活動に主体的・協働的に取り組む。	○各作曲家の作風、考え方、音楽の構造を理解する。 ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。（一人1台端末の使用）				○		【知識及び技能】 音楽の循環的な構造を理解している【知識】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽の表現における共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさ、多様性を味わって聴いている 【学びに向かう力、人間性等】 音楽と文化、社会などとの関わりについて理解する鑑賞の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている	○	○	○	8
	●器楽 （ベルアンサンブル） 【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解する【知識】 読譜について理解し、演奏するために必要な奏法の技能を身に付ける【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのようにアンサンブルをするかについて創意工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 アンサンブルに関心をもち、主体的・協働的に演奏の学習活動に取り組む	○五線譜やコードの読譜について理解し、奏法を学ぶ ○ギターとキーボードのお互いの楽器の音を聴き合いながら、ハーモニーを味わう ○個人の技能差があることを踏まえ、発展した内容（違う奏法や副旋律）を用意し、指導する ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。（一人1台端末の使用）						【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している【知識】 ギターの場合はコード（G、D7、C他）、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解している【知識】 読譜について理解し、演奏するために必要な奏法の技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのようにアンサンブルをするかについて創意工夫している 【学びに向かう力、人間性等】 アンサンブルに関心をもち、主体的・協働的に演奏の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	●創作 （自然音を用いた創作） 【知識及び技能】 変奏や変奏曲、編曲について理解する【知識】 創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、変奏や編曲する技能を身に付ける【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって変奏や編曲を伴う創作表現を創意工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 創作表現の学習活動に主体的・協働的に取り組む	○構成や声部、使用素材の創意工夫をしイメージをもって創作する ○完成した作品をグループごとに発表する			○			【知識及び技能】 変奏や変奏曲、編曲について理解している【知識】 創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、変奏や編曲する技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって変奏や編曲を伴う創作表現を創意工夫している 【学びに向かう力、人間性等】 創作表現の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている	○	○	○	6

高等学校 令和7年度（1 学年用）

教科 芸術

科目 美術 I

教 科： 芸術

科 目： 美術 I

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1 組：西川）（2 組：西川）（3 組：西川）（4 組：西川）（5 組：西川）（6 組：西川）

使用教科書：（美術 1（光村図書））

教科 芸術

の目標：

【知 識 ・ 技 能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考・判断・表現】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 I の目標：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	題材の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ	映						
1 学 期	●素描（絵画表現） 【知識・技能】 表現材料の特性について理解を深めるとともに、対象を深く観察して表現を工夫しながら的確に描写する基礎となる技能を身に付けるようにする。 【思考・判断・表現】 対象のイメージや空間を把握するための基礎となる思考力や判断力、表現力等を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現基礎を学び、造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組む。 造形表現を追求する態度を養う。	・指導事項 ○鉛筆の性質や特徴を理解し、デッサン表現の基礎的な考え方（調子、光、陰影、立体感など）について理解する。 ○カッターや定規などの用具の特性を生かして表現を工夫させる。 ○他者の作品からよさや美しさを感じ取り、自分の創造的な表現活動に取り組む。 ○教科書のQRコードを読み取り画像資料や動画資料を鑑賞し、表現活動に生かす。（スマスク端末の活用）	○			○	【知識・技能】 表現材料の特性について理解を深めるとともに、対象を深く観察して表現を工夫しながら的確に描写する基礎となる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 基礎図形の描画法を応用しながら、組モチーフを、対象のイメージや空間を把握し鉛筆で描画することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現基礎を学び、造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	16
	●静物画（絵画表現） 【知識・技能】 形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、光や陰影、奥行きなどの造形的な特徴などをもとに、静物を描いた作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。 意図に応じて材料や用具を選択し、その特性を生かすとともに、表現を工夫し、主題を追求して創造的にあらわす。 【思考・判断・表現】 心ひかれる静物を見つめ感じ取ったことや、その静物に対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、光や陰影、構図や奥行きなどについて考え、創造的な表現の構想を練る。 描かれている静物の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者が作品に込めた思いや意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に静物を描いた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の意図や作品に込められた思いなどについて考える鑑賞の創造活動に取り組む。	・指導事項 ○心ひかれる静物をあらわすことに関心を持ち、静物から感じ取ったことや、自分の思いなどから主題を生成する。 ○主題をもとに、形や色、構図などの構想を練る。 ○光や陰影、奥行きの表現などを工夫して制作する。 ○絵具や筆などの用具の特性を生かして表現を工夫させる。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取る。 ○教科書のQRコードを読み取り画像資料や動画資料を鑑賞し、表現活動に生かす。（スマスク端末の活用）	○			○	【知識・技能】 形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、光や陰影、奥行きなどの造形的な特徴などをもとに、静物を描いた作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 意図に応じて材料や用具を選択し、その特性を生かすとともに、表現を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。 【思考・判断・表現】 心ひかれる静物を見つめ感じ取ったことや、その静物に対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、光や陰影、構図や奥行きなどについて考え、創造的な表現の構想を練っている。【発想・構想】 描かれている静物の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者が作品に込めた思いや意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【思・鑑賞】 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に静物を描いた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の意図や作品に込められた思いなどについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。【態度・鑑賞】	○	○	○	12

2 学期	●スケッチブック表紙デザイン（デザイン） 【知識・技能】 形や色，材料，光などが感情にもたらす効果や，配色や構成などの造形的な特徴などをもとに，効果的な伝達のデザインを，全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに，表現方法を工夫し，目的や計画をもとに創造的にあらわす。 【思考・判断・表現】 メッセージの内容や伝える相手などから主題を生成し，効果的な表現形態や文字の配置，構成，配色などについて考え，創造的な表現の構想を練る。 メッセージを伝えるデザインの目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り，効果的にメッセージを伝える表現の工夫などについて考え，見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にメッセージの内容や伝える相手について考え，効果的に内容を伝えるデザインを工夫する表現の創造活動に取り組む。	・指導事項 ○メッセージを広く伝えるデザインに関心をもち，メッセージの内容や伝える相手などから主題を生成する。 ○主題をもとに，作品形態や表現方法，配色や構成などの構想を練る。 ○形や色，構成などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い，意図や工夫を感じ取る。 ○教科書のQRコードを読み取り画像資料や動画資料を鑑賞し，表現活動に生かす。（スマスク端末の活用）	○	○	【知識・技能】 形や色，材料，光などが感情にもたらす効果や，配色や構成などの造形的な特徴などをもとに，効果的な伝達のデザインを，全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに，表現方法を工夫し，目的や計画をもとに創造的にあらわしている。 【思考・判断・表現】 メッセージの内容や伝える相手などから主題を生成し，効果的な表現形態や文字の配置，構成，配色などについて考え，創造的な表現の構想を練っている。 メッセージを伝えるデザインの目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り，効果的にメッセージを伝える表現の工夫などについて考え，見方や感じ方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にメッセージの内容や伝える相手について考え，効果的に内容を伝えるデザインを工夫する表現の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	●立体制作（彫刻表現） 【知識・技能】 形や色，材料，光などが感情にもたらす効果や，量感や質感，動勢などの造形的な特徴などをもとに，生命感をあらわした動物や植物の彫刻を，全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに，立体であらわす表現の方法を工夫し，主題を追求して創造的にあらわす。 【思考・判断・表現】 動物や植物などを見つめて感じ取った生命感などから主題を生成し，材料の特性を生かし，質感や量感，動勢などについて考え，創造的な表現の構想を練る。 生命感をあらわした彫刻の造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え，見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に動物や植物などを見つめ，感じ取った生命感をもとにした表現の創造活動に取り組む。	・指導事項 ○生命感をあらわした作品に関心をもち，身近な人や動物などから感じ取った生命感から主題を生成する。 ○主題をもとに，材料やポーズ，構図などの構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かして制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い，意図や工夫を感じ取る。 ○教科書のQRコードを読み取り画像資料や動画資料を鑑賞し，表現活動に生かす。（スマスク端末の活用）	○	○	【知識・技能】 形や色，材料，光などが感情にもたらす効果や，量感や質感，動勢などの造形的な特徴などをもとに，生命感をあらわした動物や植物の彫刻を，全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに，立体であらわす表現の方法を工夫し，主題を追求して創造的にあらわしている。 【思考・判断・表現】 動物や植物などを見つめて感じ取った生命感などから主題を生成し，材料の特性を生かし，質感や量感，動勢などについて考え，創造的な表現の構想を練っている。 生命感をあらわした彫刻の造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え，見方や感じ方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に動物や植物などを見つめ，感じ取った生命感をもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	16
3 学期	●ストップモーションアニメーション制作（映像表現） 【知識・技能】 映像表現の特性について理解を深めるとともに専門的な技能を身に付けるようにする。 【思考・判断・表現】 ストップモーションアニメーションならではの動きなどをもとに，映像メディアの特性を生かして表現の主題を生成し，光や視点などの視覚的な要素の働きやコマの動きの変化などについて考え，創造的な表現の構想を練る。 鑑賞においてストップモーションアニメーションの特質や表現効果などを感じ取り，制作時の工夫，作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え，見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に，ストップモーションアニメーションならではの動きなどをもとにした表現の創造活動に取り組む。 また様々なストップモーションアニメーション作品を鑑賞して，ストップモーションアニメーション表現の特質や表現効果などを感じ取り，作者の意図や撮影の際の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組む。 映像表現の可能性を追求する。	・指導事項 ○企画書立案 ○絵コンテ制作 ○著作権 ○ストップモーションアニメーションに関心をもち，ストップモーションアニメーションならではの動きなどから主題を生成する。 ○主題をもとに，形や色，光，構図，動きなどの構想を練る。 ○編集技術を身に付け，企画書や絵コンテに沿って制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い，意図や工夫を感じ取る。 ○教科書のQRコードを読み取り画像資料や動画資料を鑑賞し，表現活動に生かす。（スマスク端末の活用）	○	○	【知識・技能】 編集技能を身に付け，著作権を理解し制作できる。 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに，ストップモーションアニメーションであらわす表現の方法や用いる材料などを工夫し，主題を追求して表現の意図を効果的にあらわしている。 【思考・判断・表現】 表現の主題を生成し，光や視点などの視覚的な要素の働きやコマの動きの変化などについて考え，創造的な表現の構想を練っている。 ストップモーションアニメーションの特質や表現効果などを感じ取り，制作時の工夫，作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え，見方や感じ方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に，ストップモーションアニメーションならではの動きなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。 また様々なストップモーションアニメーション作品を鑑賞して，ストップモーションアニメーション表現の特質や表現効果などを感じ取り，作者の意図や撮影の際の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。 映像表現の可能性を追求することができる。	○	○	○	12
									合計
									70

高等学校		令和7年度（2学年用）		教科	芸術	科目	美術Ⅱ						
教 科： 芸術		科 目： 美術Ⅱ		単位数： 2		単位							
対象学年組：第 2 学年		1 組～ 6 組											
教科担当者：		（1 組：西川）		（2 組：西川）		（3 組：西川）		（4 組：西川）		（5 組：西川）		（6 組：西川）	
使用教科書：		（ 美術 2（光村図書）											
教科 芸術		の目標：											
【 知識・技能 】		芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。											
【思考・判断・表現】		創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。											
【学びに向かう力、人間性等】		生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。											

科目 美術Ⅱ の目標：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに創造的に発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	題材の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵・彫	デ	映						
1 学 期	●デザイン基礎の復習・発展課題（デザイン） 【知識・技能】 形や色彩，材料などの性質や造形的な特徴などをもとに，表現の基礎的な部分を，全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに，表現を工夫し，創造的にあらわす。 【思考・判断・表現】 身近なものを見つめ，感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成し，形や色，構図，材料や用具の特性などについて考え，創造的な表現の構想を練る。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現基礎を学び、造形的なよさや美しさを感じ取り，自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組む。	・指導事項 ○色彩について（減法混色、加法混色、色相環、様々なトーン）、デザインとファインアートの違い、文字のジャンプ率や構図法等のデザインの基礎について復習し，発展課題に取り組む。 ○他者の作品からよさや美しさを感じ取り、自分の創造的な表現活動に取り組む。 ○教科書のQRコードを読み取り画像資料や動画資料を鑑賞し、表現活動に生かす。（スマスク端末の活用）					【知識・技能】 形や色，材料，光などが感情にもたらす効果や，配色や構成などの造形的な特徴などをもとに，効果的な伝達のデザインを，全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに，表現方法を工夫し，目的や計画をもとに創造的にあらわしている。 【思考・判断・表現】 メッセージの内容や伝える相手などから主題を生成し，効果的な表現形態や文字の配置，構成，配色などについて考え，創造的な表現の構想を練っている。 メッセージを伝えるデザインの目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り，効果的にメッセージを伝える表現の工夫などについて考え，見方や感じ方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にメッセージの内容や伝える相手について考え，効果的に内容を伝えるデザインを工夫する表現の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	●文化祭ポスターデザイン（デザイン） 【知識・技能】 形や色，材料，光などが感情にもたらす効果や，配色や構成などの造形的な特徴などをもとに，効果的な伝達のデザインを，全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに，表現方法を工夫し，目的や計画をもとに創造的にあらわす。 【思考・判断・表現】 メッセージの内容や伝える相手などから主題を生成し，効果的な表現形態や文字の配置，構成，配色などについて考え，創造的な表現の構想を練る。 メッセージを伝えるデザインの目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り，効果的にメッセージを伝える表現の工夫などについて考え，見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にメッセージの内容や伝える相手について考え，効果的に内容を伝えるデザインを工夫する表現の創造活動に取り組む。	・指導事項 ○メッセージを広く伝えるデザインに関心を持ち，メッセージの内容や伝える相手などから主題を生成する。 ○主題をもとに，作品形態や表現方法，配色や構成などの構想を練る。 ○形や色，構成などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い，意図や工夫を感じ取る。 ○教科書のQRコードを読み取り画像資料や動画資料を鑑賞し、表現活動に生かす。（スマスク端末の活用）					●ポスターデザイン（デザイン） 【知識・技能】 形や色，材料，光などが感情にもたらす効果や，配色や構成などの造形的な特徴などをもとに，効果的な伝達のデザインを，全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに，表現方法を工夫し，目的や計画をもとに創造的にあらわしている。 【思考・判断・表現】 メッセージの内容や伝える相手などから主題を生成し，効果的な表現形態や文字の配置，構成，配色などについて考え，創造的な表現の構想を練っている。 メッセージを伝えるデザインの目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り，効果的にメッセージを伝える表現の工夫などについて考え，見方や感じ方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にメッセージの内容や伝える相手について考え，効果的に内容を伝えるデザインを工夫する表現の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	16
2 学 期	●油彩画（絵画表現） 【知識・技能】 油絵の具の特徴を十分に理解し、表現技法の知識や創造的に表す技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 造形的な見方・考え方を働かせ，自然や自己，社会との関わり，自己の内面や在り方などを深く見つめ，感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し，独自性や自分らしさを発揮しながら表現する。 油彩画の歴史における各時代の変遷や特徴的な表現にも目を向け，自らの表現を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に自己の内面と設定した主題を見つめ，感じ取ったことをもとにした表現の創造活動に取り組む。 絵画表現の可能性を追求する態度を養う。	・指導事項 ○参考作品に関心を持ち，自身の日常生活の中から興味・関心を持った事柄から主題を生成する。 ○主題をもとに，構図・描画方法（写実的・抽象的）などの構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かして制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い，意図や工夫を感じ取る。 ○教科書のQRコードを読み取り画像資料や動画資料を鑑賞し、表現活動に生かす。（スマスク端末の活用）					【知識・技能】 油彩画の幅広い表現技法を身に付ける。 絵の具や多様な画溶液などの材料，筆やナイフなどの用具のもつ特性について理解する。 【思考・判断・表現】 自らの主題に応じた表現技法を追求している。 油彩画の歴史における各時代の変遷や特徴的な表現にも目を向け，自らの表現を工夫できる。 西洋画の造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え，見方や感じ方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に主題を構成するモチーフなどを見つめ，感じ取った事柄をもとにした表現の創造活動に主体的・積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	18

3 学 期	●学校紹介動画制作（映像表現） 【知識・技能】 映像表現の特性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付ける。 各自または各グループが設定したテーマに基づき、企画書・絵コンテを基に、機材やソフトウェアの特性を理解し、制作することができる。 著作権法を理解し、制作をする上で十分な配慮をすることができる。 【思考・判断・表現】 撮影の際の構図やカメラワーク、編集の際のエフェクトや効果音を工夫するなど、創造的な表現の構想を練る。 他校の学校紹介動画を鑑賞し表現効果などを感じ取り、制作時の工夫、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に、映像表現ならではの表現の創造活動に取り組む。 沢山の動画作品を積極的に鑑賞したり、より作品の完成度を上げようと努力できる。 映像表現の可能性を追求する態度を養う。	・指導事項 ○学校紹介動画に関心をもち、自分の学校をPRできる要素を日常生活の中から発見し、主題を生成する。 ○著作権法を理解する。 ○主題をもとに、企画書、絵コンテを通して構図、動き（カメラワーク）などの構想を練る。 ○機材やソフトウェアの特性を生かして制作する。 ○進捗状況報告や中間発表を通した発見や気づきを通して、制作意欲を高めあう。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取る。 ○教科書のQRコードを読み取り画像資料や動画資料を鑑賞し、表現活動に生かす。（スマスク端末の活用）	○	○	【知識・技能】 映像表現の特性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 映像メディアの特性を生かして表現の主題を生成し、光や視点などの視覚的な要素の働きやコマの動きの変化などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 映像表現の特質や表現効果などを感じ取り、制作時の工夫、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に、映像表現ならではの動きなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。 映像表現の可能性を追求している。	○	○	○	合計	18	58
-------------	---	--	---	---	--	---	---	---	----	----	----

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅰ

教科：芸術 科目：書道Ⅰ 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

教科担当者：（1組：梅田）（2組：梅田）（3組：梅田）（4組：梅田）（5組：梅田）（6組：梅田）

使用教科書：（書Ⅰ（光村図書））

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢 仮	漢	仮						
●書写から書道へ・漢字の変遷 【知識及び技能】 ・書道の三分野と、臨書・鑑賞・創作の学習方法を理解する。 ・小・中学校国語科書写と高等学校芸術科書道の学習の違いを確認する。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体や変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字と古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・芸術科書道への関心・意欲を高め、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。 ・漢字の書の変遷やその背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・指導事項 ①書道の三分野を確認し、臨書・鑑賞・創作の学習を通して、自己の創造的な表現に生かすことを理解させる。 ②臨書の方法、拓本に関する基礎的な知識を身につけさせる。 ③教科書 p126「書写で学習したこと」や硬筆レッスン帳等を参照し、筆使い、字形、文字の大きさと配列など、小・中学校の国語科書写で学習した内容を確認する。 ④漢字には五つの書体があることを理解させる。 ⑤それぞれの書体の成立過程と、その歴史的背景、字形や線質の特徴を理解させる。 （書画カメラ、プロジェクター、ワークプリント等を使用）				【知識・技能】 ・書道の分野や書道で学習すること、小・中・学校の国語科書写で学習した内容を理解している。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 ・漢字の古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・芸術科書道の学習に関心をもち、書道で学習することや、小・中学校の国語科書写で学習した内容に関心をもち、主体的に取り組んで以降とする態度を養っている。 ・漢字の書体の変遷や、その背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。					

[illegible]

2 学 期	●篆刻 【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の鑑賞、字形や構成を生かした表現の技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 ・漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・指導事項 ①印の使い方や種類、篆刻に必要な用具とその使い方を理解させる。 ②選文・検字から押印・補刀までの制作手順を理解させる。 ③篆書「皇帝」を鑑賞して篆書の特徴を感じ取り、楷書との違いを知る。 ④自分の氏名の篆書を検字し、篆書の線質や字形で印稿を制作させる。 ⑤白文印か朱文印を選び、印を制作する。白文印と朱文印では線の太さが異なるので注意を促す。 ⑥布字はマジック転写で行う。 ⑦運刀については、印床を用いながら怪我がないように留意させる。刀の角度と深さを意識して、力強く一気に運刀するよう指示する。 ⑧撃辺は適宜行い、完成したら作品に押印する。 (教科書、篆書字典、書画カメラ、プロジェクター、ワークプリント等を使用)	○	○		【知識・技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。(知識・表現) ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解している。(知識・鑑賞) ・漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につけている。(技能) 【思考・判断・表現】 ・漢字の書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。(表現) ・漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。(鑑賞) 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に篆刻の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。(表現) ・主体的に篆刻の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑賞)	○	○	○	10
	●文字の造形を学ぶ(漢字の書・行書) 【知識及び技能】 ・行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解する。 ・行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 ・行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・指導事項 ①行書の成立過程や通行書体としての性質を再確認し、行書を楷書と比較して、点画の丸み、連続、省略などの特徴を理解させる。 ②蘭亭序(p54～58、145～148)を鑑賞し、抑揚を利かせた用筆や、筆脈により自在に変化する文字の姿を感じ取る。 ③教科書やスライド資料を参考にして、書道史における書聖・王羲之と蘭亭序の価値を理解し、その書風や文章の内容を理解する。 ④蘭亭序の抑揚を利かせた用筆、多様な字形などを確認し、筆脈と抑揚を意識して臨書させる。 ⑤空海の人物像や書道史における位置づけについて理解する。 ⑥風信帖(教科書p62・63、141～144)を確認し、書かれた経緯や書風、文章の内容と大意を理解する。 ⑦風信帖の重厚感のある用筆、安定した字形等を意識して臨書させる。 (書画カメラ、プロジェクター、ワークプリント等を使用)	○	○		【知識・技能】 ・行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。(知識・表現) ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解している。(知識・鑑賞) ・行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。(技能) 【思考・判断・表現】 ・行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について工夫している。(表現) ・行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。(鑑賞) 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。(表現) ・主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑賞)	○	○	○	14

●文字の造形を学ぶ・構成を学ぶ
(仮名の書)
【知識及び技能】
・線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。
・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解する。
・仮名の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、連綿と単体、線質や字形を生かした表現をするための技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
・仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。
・仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書の高さや美しさを味わって捉える。
【学びに向かう力、人間性等】
・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。

・指導事項
①漢字の伝来から仮名の成立に至る過程で段階的に発生した仮名の種類を理解する。
②万葉仮名から草仮名を経て女手に至る仮名文字の推移と、それぞれの性質を理解する。
③仮名が、現在使われている一字一音の平仮名に統一された経緯を知り、平仮名と変体仮名の違いを理解する。
④平仮名とは系統の異なり、片仮名の成立と字源について理解する。
⑤横の線、縦の線、転折、円運動、結びなど、仮名の基本的な用筆・運筆を理解する。
⑥基本的な筆使いを繰り返し練習し、仮名の特有の用筆・運筆を習得する。
⑦平仮名の字源を知り、正確に字形を捉え、字形や筆使いを意識しながら臨書する。
⑧平仮名と変体仮名を比較し、平仮名と同じ字源・違う字源の変体仮名をそれぞれ確認する。
⑨蓬萊切(教科書p86・87)を鑑賞し、端正な字形や清らかで平明な線がもたらす品格の高い書風を感じ取る。
⑩蓬萊切の伝来や和歌の内容と大意、書風について理解する。
⑪古筆の用筆や仮名遣いの特徴を理解し、変体仮名の読み方を確認する。
(書画カメラ、プロジェクター、ワークプリント等を使用)

○ ○

【知識・技能】
・線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。(知識・表現)
・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。(知識・鑑賞)
・仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形を生かした表現をするための技能を身につけている。(技能)
【思考・判断・表現】
・仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。(表現)
・仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書の高さや美しさを味わって捉えている。(鑑賞)
【学びに向かう力、人間性等】
・主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。(表現)
・主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑賞)

○ ○ ○

18

●創作する(漢字仮名交じりの書)
【知識及び技能】
・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解する。
・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じり文の成立について理解する。
・目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫する。
・創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書の高さや美しさを味わって捉える。
【学びに向かう力、人間性等】
・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。

・指導事項
①漢字仮名交じりの書の特徴を理解し、作例を鑑賞し、漢字と仮名の調和や自由な紙面構成などの表現の特徴を確認する。
②「心に響く言葉を書く」(教科書p110・111)を見て、書かれている言葉に着目して、書体や書風、紙面構成などどのような表現の工夫が見られるか、またその表現効果はどのようなものかを感じ取り話し合う。
③書く言葉を決め、作品のイメージを持ち、書体・書風・紙面構成などを考えて作品の構想を練る。
④著作権について知り、本文の後に引用元を落款に書き入れることを理解させる。
⑤試作を重ねて表現を工夫し、落款を入れて作品を仕上げる。
⑥作品を発表し合い、学習の成果について交流する。
(書画カメラ、プロジェクター、ワークプリントを使用、一人1台端末の活用)

○

○

【知識・技能】
・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。(知識・表現)
・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じり文の成立について理解している。(知識・鑑賞)
・目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現を身につけている。(技能)
【思考・判断・表現】
・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。(表現)
・創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書の高さや美しさを味わって捉えている。
【学びに向かう力、人間性等】
・主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。(表現)
・主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑賞)

○ ○ ○

6

合計

70

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅱ

教 科： 芸術 科 目： 書道Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（3組： 梅田 ）（4組： 梅田 ）（5組： 梅田 ）（6組： 梅田 ）

使用教科書：（ 書Ⅱ（教育図書） ）

教科 芸術 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢	仮						
1 学 期	●書へのいざない 【知識及び技能】 ・漢字の書・仮名の書を構成する様々な要素について理解させる。 ・漢字の書・仮名の書古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて伝える。 ・名筆や現代の様々な書の表現、古典の特徴と、用筆・運筆との関わりについて伝える。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えるよう指導する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に創造的な鑑賞の学習活動に取り組むよう促す。	●書へのいざない ・私たちは臨書で何を学ぶのか、書の創作に必要なものを考えさせる。 ・合同作品制作（漢字仮名交じり）	○			○	●書へのいざない 【知識及び技能】 ・漢字の書・仮名の書を構成する様々な要素について理解している。 ・漢字の書・仮名の書古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・線質や字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書、仮名の書の特質とその歴史、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・中学校書写で学んだ漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成について構想し工夫している。 ・作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じりの書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・主体的に創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	●漢字の書（篆書・隸書・草書） 【知識及び技能】 ・篆書・隸書・草書を構成する様々な要素について伝える。 ・篆書・隸書・草書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりや、篆書・隸書・草書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて伝える。 ・篆書・隸書・草書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、篆書・隸書・草書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫するよう促す。 ・篆書・隸書・草書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えるように伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に篆書・隸書・草書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。	●篆書 ・篆書の特徴を知る。 ・「馬」字を通して篆書の特質とその歴史について理解を深めさせる。 石鼓文の臨書を通して大篆の書美を学ぶ。 ●隸書 ・隸書の特徴を知る。 ・「平成」字を通して隸書の特質とその歴史について理解を深めさせる。 ・乙瑛碑の臨書を通して隸書の書美を学ぶ。 ・居延漢簡、開通褒斜道刻石の臨書を通して時代、風土、筆者などとの関わりについて学ぶ。 ●草書 ・草書の特徴を知る。 ・「神融筆暢」字を通して草書の特質とその歴史について理解を深めさせる。	○			○	●漢字の書（篆書・隸書・草書） 【知識及び技能】 ・篆書・隸書・草書を構成する様々な要素について理解している。 ・篆書・隸書・草書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりや、篆書・隸書・草書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 ・篆書・隸書・草書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、篆書・隸書・草書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 ・篆書・隸書・草書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に篆書・隸書・草書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10

●漢字の書の作品制作 1 【知識及び技能】 ・漢字の書を構成する様々な要素について理解させる。 ・漢字の書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解させる。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解を深めさせる。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解を深めさせる。 ・漢字の書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めさせる。 ・漢字の書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けさせる。 ・漢字の書の変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、漢字の書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫するよう促す。 ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫させる。 ・漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えるように伝える。 ・生活や社会における漢字の書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に漢字の書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。 ・主体的に漢字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。	●漢字の書の作品制作 1 ・近代書の作品鑑賞をする。 ・半紙に臨書作品を制作する。（篆書・隸書から好きな古典を選び、古典の書風を基に半紙に好きな文字を書く） ・扇面に臨書作品制作をする。（草書の古典「書譜」の中から好きな文字を扇面に臨書する） ・ミニ屏風創作作品制作をする。（屏風に篆書・隸書・草書の中から好きな書体を選び、構成を考えて好きな文字を書体の特徴を基に制作する） ・半切四分の一看板作品制作をする。（架空の店の看板を考え、店のテーマにふさわしい書体と趣で書く）	○	○	○	●漢字の書の作品制作 1 【知識及び技能】 ・漢字の書を構成する様々な要素について理解している。 ・漢字の書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解を深めている。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解を深めている。 ・漢字の書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 ・漢字の書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 ・漢字の書の変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、漢字の書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫するよう促す。 ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 ・漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えるように伝える。 ・生活や社会における漢字の書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に漢字の書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。 ・主体的に漢字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

[illegible]

	●仮名の書 【知識及び技能】 ・仮名の書を構成する様々な要素について理解させる。 ・仮名の書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解させる。 ・仮名の書の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解を深めさせる。 ・日本の文字と書の伝統と文化について理解を深めさせる。 ・仮名の書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めさせる。 ・仮名の書の特質とその歴史について理解を深めさせる。 ・仮名の書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けさせる。 ・墨継ぎや散らし書き等による全体の構成の技能を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、仮名の書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫させる。 ・仮名の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えさせる。 ・生活や社会における仮名の書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に仮名の書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。 ・主体的に仮名の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。	●仮名の書 ・仮名の書の特徴を知る。 ・古今和歌集の古筆の比較鑑賞（関戸本古今和歌集／高野切古今和歌集第一種） ・自然を尊重する心を反映した散らし書きの鑑賞（継色紙／升色紙／寸松庵色紙） ・和歌を散らし書きで構成し、文字の交換をして独創的な作品制作をする。				○ ○	●仮名の書 【知識及び技能】 ・仮名の書を構成する様々な要素について理解している。 ・仮名の書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・仮名の書の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解を深めている。 ・日本の文字と書の伝統と文化について理解を深めている。 ・仮名の書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 ・仮名の書の特質とその歴史について理解を深めている。 ・仮名の書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 ・墨継ぎや散らし書き等による全体の構成の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、仮名の書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 ・仮名の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 ・生活や社会における仮名の書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に仮名の書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。 ・主体的に仮名の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○ ○ ○	14
3 学 期	●漢字仮名交じりの書の作品制作 【知識及び技能】 ・漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素について理解させる。 ・名筆や現代の様々な表現と用筆・運筆との関わりについて理解させる。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解を深めさせる。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解を深めさせる。 ・漢字仮名交じりの書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めさせる。 ・目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能を身に付けさせる。 ・漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、漢字仮名交じりの書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫するよう促す。 ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫させる。 ・漢字仮名交じりの書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えるように伝える。 ・生活や社会における漢字仮名交じりの書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。 ・主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。	●漢字仮名交じりの書の作品制作 ・画仙紙半切三分の一に、好きな語句を意図に応じた書風・用具で作制する。 ・作品発表をする。 ・近現代の作品鑑賞をする。				○ ○	●漢字仮名交じりの書の作品制作 【知識及び技能】 ・漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素について理解している。 ・名筆や現代の様々な表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解を深めている。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解を深めている。 ・漢字の書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 ・漢字仮名交じりの書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 ・漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、漢字仮名交じりの書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫するよう促す。 ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 ・漢字仮名交じりの書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えるように伝える。 ・生活や社会における漢字仮名交じりの書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。 ・主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○ ○ ○	8 合計 70